



1999.12

TIAニュース THE VOICE

No.15

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

TIA ニュース・THE VOICEには、高松市の国際交流についての声を載せていきます。

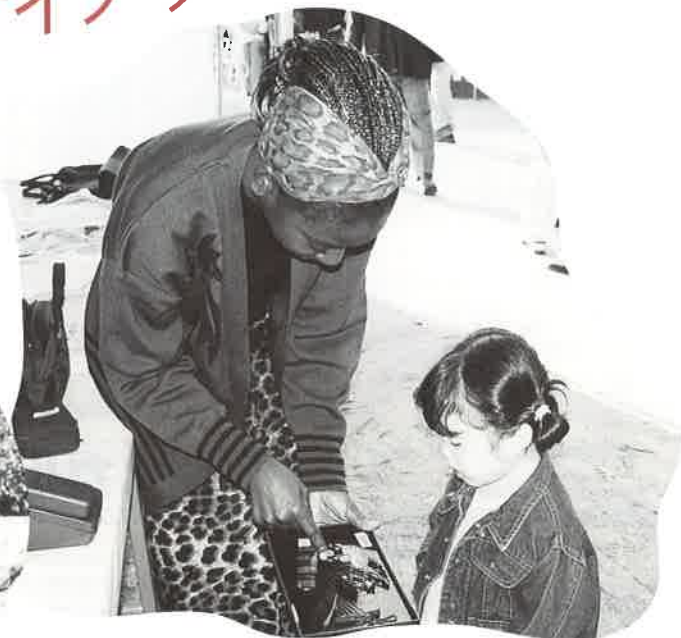


国際交流の ボランティア

ティア大活躍



かがわ国際交流フェア'99でステージを担当したボランティアの皆さん



かがわ国際交流フェア'99でリサイクル品を販売

INDEX

- ★第7回高松国際交流青年のつどい
- ★外国人のど自慢お国自慢大会
- ★高松まつり「国際交流おどり子連」
- ★リニューアルかわら版
- ★バングラデッシュ&ネパール理解サロン
- ★かがわ国際交流フェア'99
- ★姉妹都市市民親善使節団
(セント・ピーターズバーグ市)
- ★第9回中学生訪中親善使節団
- ★姉妹友好都市からこんにちは
- ★日本文化体験講座「茶道の体験教室」
- ★高松市内国際交流団体紹介
- ★TIAホームページがオープン
- ★TIA今後の事業予定
- ★INFORMATION
- ★編集後記

【国際交流ボランティア制度】とは



(財)高松市国際交流協会(TIA)の事業を通じて、外国の方々との交流や相互理解、友好親善を深めることを目的とする制度です。

●登録に必要なもの

国際交流への熱意

第7回 高松国際交流 青年のつどい



さめき満濃公園インターナショナルキャンプ

第7回目の青年のつどいが従来と大きく違うのは、企画全般がボランティアの力によってなされたことです。今までは、(社)高松青年会議所(JC)の情熱をTIAが国際交流のノウハウでバックアップしていましたが、今回はボランティアの情熱をJCとTIAでサポートしました。

今回は、国際交流に関心がある人をボランティアチームに組み立て、運営しました。

運営にあたっては、国際交流の基本コンセプトにこだわること、ボランティア各自の持ち味をいかすこと、チーム内のコミュニケーションを円滑にすることに気を配りました。

結果として、TIAも、事業のプログラムの設計の仕方次第で多くの市民の方に、国際交流の面白さと可能性を実感してもらえらることを確信しました。

国際交流のボランティアをするのに特別な能力は必要ありません。自分たちの得意技、イラストが書けるとか、書道が得意とか、料理が上手とか踊りが得意とかお寺のことに詳しい、とか会社で経理をしているとか、あるいは、明るい、笑顔がよい、声大きいといったことも十分国際交流の推進に役立つのです。

TIAでは、これから一人ひとりの持ち味を生かして、国際交流が推進できるイベントを企画していきたいと思っておりますので、まずは関わってみてください。

クロスカルチャーな時間

アイスブレイク・ゲーム

まずは、自己紹介。と、いつでもここで一工夫。背中に書いた有名人(例えばマドンナ)や名所旧跡が何かをジェスチャーなどであてる名前ゲーム、そして、「大食い?」「ロマンチスト?」といった質問をずばりと聞きながら新しい人との出会いを楽しむ人間ビンゴゲームで、アイスブレイクしていきました。質問内容は、すべてボランティアの好みです。



満濃たんのうワークショップ

国営さめき満濃公園の恵まれた自然と環境を利用したワークショップ。陶芸体験やネイチャーゲーム、ハーブ教室、和太鼓体験で自然や日本の文化に親しみました。



インターナショナル バーベキュー&キャンプファイア

食料班ボランティアが激論を交してメニューと仕入れ方法を考案しました。当日は、その他に参加者がブラジルの肉料理とドイツのサラダを作ってくれました。キャンプファイアには、アフリカの踊りにチキチキダンスにサルサのレッスン。体で覚える国際理解で、秋の夜長を楽しみました。



さらなる相互理解を目指してグループディスカッション。「もっといろいろな文化を知りたい」「忙しいスケジュール」と様々な意見が出てきました。来年につなげていきたいと思っております。

語り合い





～青年のつどいが出来るまで～

企画ミーティング

今までの企画を参考にしたり、外国人の意見を聞いて、コンセプトと骨子をまとめる。

実地検証

下見したり、他のイベントに参加してプランをさらにねって現実的にする。

役割分担

今回は、イベント運営班と食料班、総務班にわかれしました。総務班の主な仕事は安全管理、縁の下の力もちです。



何でもやっています！

〈青年のつどい運営うらばなし“We made it happen”〉

外国の友人が欲しい、という単純な動機で青年のつどいの実行委員会に参加しました。

1回目のミーティングに参加すると、「地球市民とはなんだと思いますか？」とJ.Cの人からのっけから聞かれ、頭がパニックになりながらも、面白そうな留学生の人や、他の個性的なボランティアの人と意気投合し、まずはやってみることにしました。

毎月の実行委員会の他に、TIAの事務所やロイヤルホストのテーブルを占領し、ブレインストーミングミーティングと称して話しあいました。（私はタイのビールをしっかりと飲みながら会話に参加）

J.CやTIAの人から、イベント運営のこと、国際交流の進め方、そしてKUFSA（香川大学留学生会）のロン先生や会長のジヤイメさんからは、留学生や在住外国人の考え方や気持ちを教えていただきました。ロン先生のアドバイスは単純明快で印象的でした。「留学生や外国人の多くの方は、本当にリラックスができるイベントに参加したいのです」。そこで、外国人も日本人も本当にリラックスできて、リフレッシュできるイベントをつくろう、ということになりました。

イベントの場所と内容の選定は、各自がプランを持ち寄って、選考会をすることに。出てきたプランは、「長尾町サバイバルツアー」「津田松原地引き綱プラン」「青年センター縁日プラン」「直島キャンププラン」「さめき満濃公園プラン」これを、全員でプランの魅力、予算面などでの現実度、外国人へのアピール度などで甲乙をつけながら判定していきました。私の出した、「直島キャンププラン」は、「予算が全く現実的でない」というロンさんの一声で一蹴。残念。結局、会場の魅力で「さめき満濃公園プラン」に決定しました。

場所の次は内容を、限られた予算の中で考えていきました。全員で分担して、見積りをとったり、値段の交渉をしたり。また、会場にも下見に行って、実際に泊ってみたり、施設やBBQなどの確認もしました。公園の方も協力してくださり、和太鼓体験などのアイデアも、公園側に提案し、実現することになりました。

夏の間は、ともかく在住の外国人に声をかけてひたすら集客していました。おかげで、本当にたくさんの方と友達になれました。当日は、お客さんと思っていた外国人の中から、どんどん協力してくれる人がでてきました。夜のBBQでは、ブラジルの焼肉やドイツのサラダ、キャンプファイアではカナダ人やブラジル人やイタリア人の人の生演奏やブラジルのダンスレッスンにアフリカのダンスとかが出来て、早朝にはアメリカ人による太極拳ということで、香川にいながら、本当にインターナショナルな雰囲気堪能できました。皆、自分の文化や特技を紹介するのはとても嬉しそうしてくれるし、また日本の文化を学びたいと思っている人が多いことにも驚きました。

私にとって、地元で国際交流するのも、ボランティアをするのも初めてだったのですが、このインターナショナルキャンプの運営を通じて、それぞれの人の生き方や考え方に接して、私も少し大人になったと思います。TIAやJ.Cの人が、私たちボランティアが自由に行動できるよう、温かく見守ってくださったことが、のびのび楽しく充実したキャンプにできた一番の理由だと思います。本当にありがとうございました。



国際交流バックステージ



～松前 佐弥香～



日本人もビックリ!

外国人のど自慢お国自慢大会



7月11日午後、外国人のど自慢お国自慢大会が香川県社会福祉総合センターで開催されました。3回目となった今年の大会は、初めて国際交流団体やボランティアなどによる実行委員会を設けて、またたくさんの協賛団体のご協力を得まして、例年と違った形で行われました。

10カ国の出演者の皆さんは十八番の日本語の歌や異文化の薫が漂う素晴らしい伝統演技を華やかなステージで繰り広げて、約200席のほとんどを埋めた来場者を魅了しました。最後に受賞したのは次の皆さんです。

- ★最優秀賞 REGINA NAKAGAWAさん
- ★優秀賞 PONKIT MANさん
- ★優秀賞 李 天安さん

この行事は来年も開催する予定なので実行委員になってみたい、ボランティア活動したいと思ったら、来年初夏のころ、ぜひお電話ください。

SPECIAL THANKS ボランティア

- 受付
- 舞台設営
- 出演者誘導など



VOLUNTEER

日に日に強まる

舞った! 踊った!



高松まつり

SPECIAL THANKS ボランティア

- 受付
- 着付け
- 現場誘導など

国際交流おどり子連

高松の夏といえば高松まつり。今年は曲が「一合まいた」から一新、「おどりが変わる、みんなが変わる」をテーマに、8月14日(土)に盛大に行われました。我々「国際交流おどり子連」も、蛍光色のたすきをビシッとかけて、総勢129人(日本人47人、外国人82人)が中央通りを元気に踊りました。

「国際交流おどり子連」と書かれたたくさんの提灯を飾った山車を先頭に、はっぴ先鋭集団がつづき、大勢のゆかた姿やスパッツ姿のおどり子連、最後には大うちわが連全体を盛り立てて、活気あふれる連になりました。

今年から踊りも曲も各連自由ということで、来年はどういう形で参加しようかと、今から計画を練るところです。

朝から晩まで お疲れさまでした!

前日まで降っていた雨がうそのように晴れ、朝からいいお天気でした。今年の「かがわ国際交流フェア'99」はTouch&Think—地球市民へ!というテーマで、高松市中央公園とアイパル香川を会場に11月14日(日)に行われました。今年は「ここがヘンだよ日本人」に出演中のゾマホン・ルフィンさん(ベナン共和国)のトークライブも行われるということで、朝早くから大勢の方が中央公園に集まっていました。今年も、TIAのボランティアさんに、ステージ裏での進行や、リサイクル品のチャリティーバザー、国際屋台村での販売など、いろいろな部門でお手伝いいただきました。前日から準備を手伝って下さったり、当日フル回転で動いて下さったボランティアの皆さん、どうもありがとうございました。

TIA国際交流ボランティア大募集!

TIAではこのようにたくさんのボランティア
ボランティア活動内容●ホームステイ●ホー



編集会議のひとつ

T.I.A. KAWARA-BAN

前回のたかまつ国際交流ボランティアのつどいは覚えていらっしゃいますか？その中に、「在住外国人への情報提供を考える」というワークショップがありました。ここでは、観光情報や国際交流のイベントの情報のみならず、「日本の生活に関するルール」やその他在住外国人が本当に必要としている情報をタイムリーに提供することが課題として認識されました。

そこで、TIAではその結果を踏まえ、平野キャシーさん（TIA理事、カナダ出身、児童文学翻訳者）を中心にボランティアによるTIA Kawara-Ban発行チームを新たに編成し、多様化する外国人への情報提供へのニーズに対応する努力をはじめています。

現在、従来のTIA Kawara-Banで掲載していた、国際交流イベント情報などに加え、季節ごとの催し物や、その背景にある日本や香川の文化紹介、ランチやスポーツや映画といった日常生活情報に、病院や外国人何でもQ&Aといった情報を発行チームのボランティアが収集、英訳し、キャシーさんが内容をチェック（英文および内容）し、それをまた編集する作業をTIAとボランティアが共同作業で行っております。

情報量の充実、ホームページへの掲載、英語以外の言葉での情報提供など今後様々な課題がありますが、発行チームとTIAとが一体となって、より充実した紙面にしていきたいと考えておりますので、発行チームへのボランティアを希望される方は、ぜひ気軽にご連絡ください。

ER

国際交流 ボランティアパワー

POWER

バングラデッシュ & ネパール理解サロン

かがわ国際交流フェア'99

SPECIAL THANKS ボランティア

- チャリティーバザー
- アイスクリーム販売
- ステージ進行補助など



平成11年6月12日(土)に女性センターでクロスカルチャー地球村「バングラデッシュ&ネパールを知ってみよう」をシャブラール=市民による海外協力の会と共同で開催しました。

第1部でネパールのチャンドラ・プラサード・カチパティ氏より「手工芸品を通じたネパール女性たちの生活向上」というテーマで、ビデオやスライドなどを交えながら、分かりやすくお話ししていただいた後、在住のバングラデッシュ人によるサリーの試着体験やチャイの試飲を通じて、バングラデッシュの文化に親しみました。当日は、高松高校の二人の学生にボランティアをお願いしました。



がいろいろなところで大活躍しています。あなたも参加してみませんか？所定の登録用紙に記入して、あなたも国際交流ボランティアの仲間入り！
ムビジット●語学ボランティア●事業運営●機関紙編集など



CITY OF ST. PETERSBURG

TAKAMATSU CITY



▲フィッシャー市長と市代表団・市民親善使節団



CITY OF ST. PETERSBURG

姉妹都市
セント・ピーターズバーグ市



City of St. Petersburg (U.S.A., Florida state)

〈City of St. Petersburg〉

アメリカ合衆国フロリダ州にあるセント・ピーターズバーグ市は、サンシャインシティと言われるほど温暖で、フロリダ半島の中央部西海岸に位置しています。1961年10月5日高松市は姉妹都市提携をし、行政研修生派遣、高松一高への英語講師受入、親善研修高校生受入、市民親善使節団派遣等の交流をしています。



▲バーム・ショアーズ(高齢者福祉施設)訪問▲

〈DATA〉

人 口 ● 243,800人
面 積 ● 148.48km²
年間平均気温 ● 23.3℃
年間降水量 ● 134.9mm
年間日照日数 ● 361日



▲ホストファミリーと名残を惜しむ

交 通 ● ニューヨークから飛行機で1時間30分
□ サンゼルスから5時間
タンパから車で30分

主 な 交 流 ● 市民親善使節団派遣
行政研修生派遣
高松一高への英語講師受入
親善研修高校生受入



▲フィッシャー市長夫妻と(トロピカーナ球場にて)

夏休みに南昌市の子どもたちと交流

第9回中学生訪中親善使節団

8月20日(金)～25日(水)の6日間、高松市内の中学生12人が高松市と友好都市である南昌市や、北京、上海を訪れました。南昌の少年宮の子どもたちとの交流や、初めてのホームステイなど、言葉の壁を越えた貴重な体験をし、数えきれないほどの思い出をつくって帰ってきました。彼らのそんな体験を報告書にまとめましたので、ぜひご覧ください。報告書は当協会事務局にあります。



広がった 民際交流の輪



▲両市長による記念植樹

高松市姉妹都市への市民親善使節団 10人

9月26日(日)～10月3日(日)の8日間、高松市民親善使節団の10人は高松市代表団とともに、姉妹都市であるセント・ピーターズバーグ市を訪れました。

市役所では、フィッシャー市長表敬訪問の後、両市長の記念植樹の立会いを行いました。また、ミラーレイク図書館、20世紀の偉大なスペインのサルバドールダリ美術館で、超現実主義の画家の作品に出会いました。

2日目には、パームショアーズ高齢者福祉施設を見学しました。香川県高松市の名所等を紹介し、折り紙を作りながらの交流もできました。3泊4日の意義のあるホームステイ交流は、今後の姉妹都市親善交流を更に力強いものにしました。

よろしくネ

姉妹友好都市からこんにちは!



南昌市行政研修生 張 紅兵

私は9月1日に高松市へ来ました。高松市には、山や川、また海も近くにあります。空気がさわやかで、いろいろなところに緑の木やきれいな花が多く、その美しさはとても印象的でした。また、南昌市によく似ている気候がとても気に入りました。もちろん、一番好きなのは親切で優しい高松市民です。今一生懸命に日本語の勉強をしています。



セント・ピーターズバーグ市招聘教師
Jillian Gregory

Takamatsu is a beautiful city and I am enjoying my life here very much. Everyone is very kind and helpful. I am interested to learn a great deal about Japanese culture and talk with many people. Also, I am interested in continuing the good International Relations between St. Petersburg and Takamatsu. Thank you for giving me the opportunity to live in Takamatsu.

日本文化体験講座

「茶道の体験教室」



「暑さ寒さも彼岸まで」といわれます。しかし、お茶会の当日9月23日は残暑で蒸し暑かったのですが、会場のお茶室は、電力会社のPR館でもあり空調がきいていて快適温度です。床には「水を掬すれば月手に在り」という中国の唐の時代に書かれた詩のお軸が掛かっており、また、ススキ、われもこう、野カンゾウなどの秋の草花が生けてありました。

アメリカ人、オーストラリア人、中国人の12人の参加者は皆、神妙な顔をして茶席に入りました。亭主として茶道裏千家淡交会の村尾先生が和服姿で出迎えた後、きれいな着物を着たお手前さんによってお茶が点てられました。正客は中国から来た研修生の章 焯栄さんが務めました。翌24日は、中国では中秋節であり、月を愛でながら家族で団らんする習わしがあります。また、月に兎が住んでいる言い伝えも日本と同じです。兎を形どったお饅頭と濃い緑色のお抹茶を大勢の参加者と一緒にいただきました。異国の文化の味はどんな味だったでしょうか。

この後、別室で英語版と中国語版の茶道の解説書により説明がりましたが、茶道の奥深いところを理解するには言葉に壁もあり、少し難しかったようです。しかし、今回の茶道の体験により、衣、食、住にわたる日本の文化の一端を感じ取ることができたものと思います。

高松市内国際交流団体紹介

香川日仏協会

1984年、ちょうど今から15年前、『香川日仏協会』は設立されました。「フランス人との友好を深め、文化の交流を推進し、フランス語・フランス文化の普及につとめ、あわせて会員相互の親睦をはかる」ことを目的とする、いわゆる日仏を中心とした文化交流団体です。現在、会員200名余。「フランス語講座」をはじめ「シャンソン教室」「フランス映画の夕べ」「フランス料理講習会」「公開講座」「コンサート」など、さらに「パリ祭」や「ラ・ブーム・ボジョレ・ヌーボー」という、歌とダンスとワインの集いなどを開催してきました。会員が企画の提案をし、運営にかかわるボランティア団体です。

香川日仏協会は、高松市とトゥール市、高松丸亀町とパリ・キャプシーヌ通りとの姉妹・友好提携や、志度音楽ホールの名誉館長に世界的なフルート奏者のランパル氏を迎えるなど、行政にも働きかけて大きな成果をあげてきました。

事務局：高松市丸亀町11-1 ヨンデンプラザ高松 Tel/Fax 087-821-5606



さぬき国際交流お正月会&

(さぬき国際交流お正月会～ミレニアム記念)

と き ● 2000年1月16日(日)
13:00～16:00 開場 12:30～

ところ ● アイバル香川3階

参加料 ● 300円

連絡先 ● TIA(財)高松市国際交流協会
TEL087-837-6003/FAX087-837-6005

E-mail: tia@kgw.enjoy.ne.jp

主 催 ● さぬき国際交流お正月会実行委員会



初詣クリーンハイキング

内 容 ● 日本や世界各国のお正月

文化を楽しみます。国際交流もちつき大会、各種お雑煮食べ比べ、エコゲームなど、盛りだくさん! 初詣クリーンハイキングは、10:30にアイバル正面玄関に集合して、道端の清掃をしながら石清尾八幡宮まで行き、そこでお参りします。そこから、アイバルに帰ってお正月会に合流します。

Information

火災・救急・地震にそなえて ◆防災ガイド◆

高松市消防局から、7カ国語による「防災ガイド」の冊子が作成されました。使用言語は日本語、英語、中国語、ハングル語、ポルトガル語、タイ語、ペルシャ語です。内容は通報の仕方や、火災が起きたらどうするか、また地震から身を守る方法などが書かれてあります。この冊子はTIAに置いてありますので、ぜひお知り合いの外国の方々に教えてあげてください。



TIAでも、「ボランティアのための7カ国語会話」や「日本語救急箱」を7カ国語で用意しています。ぜひご利用ください。



第1回 ビッグ・エス主催

全国ドイツ語スピーチコンテスト 参加者募集

参加資格 ● 日本に住み、両親共にドイツ語を母国語としない人で、高校生以上、海外在住経験合計2週間以内の人。

開催日時 ● 2000年2月20日(日) 13:00～

開催場所 ● 香川県社会福祉総合センター コミュニティホール

コンテスト ● 第1部/朗読の部 ● 第2部/創作スピーチの部

申込み・お問い合わせ先 ● 〒761-0101 香川県高松市春日町1627-1
TEL(087)843-7711

ホームページアドレス ● <http://www.big-s.co.jp>

e-mail アドレス ● info@big-s.co.jp

株式会社 ビッグ・エス「全国ドイツ語スピーチコンテスト」

実行委員会 ● 担当: 是本誠志・松川智彦

アイバル映画祭

- ◆ 日 時 2月8日(火)～29日(火) 毎週火曜日
18:45 開場
19:15 上映開始
- ① 2月8日 8月のクリスマス(韓国)
- ② 15日 こねこ(ロシア)
- ③ 22日 シュウシュウの季節(アメリカ)
- ④ 29日 愛と憎しみのデカン高原(インド)
- ◆ 場 所 ホール・ソレイユ
- ◆ 入場料 前売り 4枚セット ¥3,000
2枚セット ¥1,700
期間中 1枚 ¥1,000
- ◆ 主 催 (財)香川県国際交流協会
- ◆ 問合せ アイバル香川まで電話等で

TIAの今後の事業予定

- 1月 1/16(日) さぬき国際交流お正月会 & 初詣クリーンハイキング
場所: アイバル香川3階会議室
- 2月 2/5(土) グローバルトークン
場所: 女性センター
- 3月 3/12(日) 国際交流ボランティアのつどい
場所: アイバル香川3階会議室
講師: 的野秀利
(AMDA代表代行常務理事・理学博士・医学博士)

TIAホームページがオープン!

T.I.A.が推進している事業や高松市内の国際交流の活動等をタイムリーに紹介するためのホームページを開設しました。

- アドレス: <<http://ww2.enjoy.ne.jp/~tia/>>
- 主な内容: 国際交流イベント情報、高松の姉妹都市情報、国際交流団体紹介、国際交流ボランティア制度の案内、TIA Kawara-Ban(英語版情報)など
- ホームページ運営のボランティアや国際交流の情報の掲載を希望される方は、TIAまでお気軽にご連絡ください。

★ 年末年始のアイバル香川の休館日
1999/12月27日(月)～2000/1月4日(火)

編集後記

トルコの地震、台湾の地震と大きな自然災害が重なった今年、世界各地から多くの海外ボランティアの協力が寄せられていた。国内でも、福祉の面で特にボランティアに支えられているところが大きい。

今号は高松市国際交流協会の事業で活動されたボランティアの人たちにスポットをあてた。実行委員会形式の二つの事業も成功裏に終えることができたのも、ボランティアの人たちの陰なる力があってのことと敬意を表します。

さて、西暦2000年はどんな幕開けになるだろう。それは、国際交流ボランティアの皆さんと在住外国人、留学生、研修生と、そして高松市国際交流協会が協力し、お互いに育ちあう流れをつくっていくことであろう。勢いのある流れにしたいです。

M.Y.